



広報せき

Seki Gocoro

2019
10

No.1704

巻頭
特集

中小企業の

ものづくり

応援します!



Seki Gocoro 10

TOPICS

刃物まつり 8-9P
市政功労者、教育功労者表彰 ... 11P
INFORMATION 16-36P
子育てカレンダー 39P

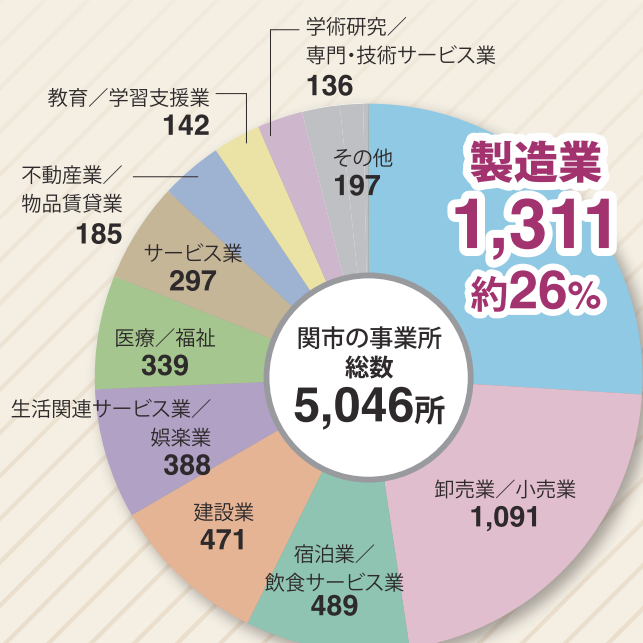


中小企業の ものづくり 応援します!

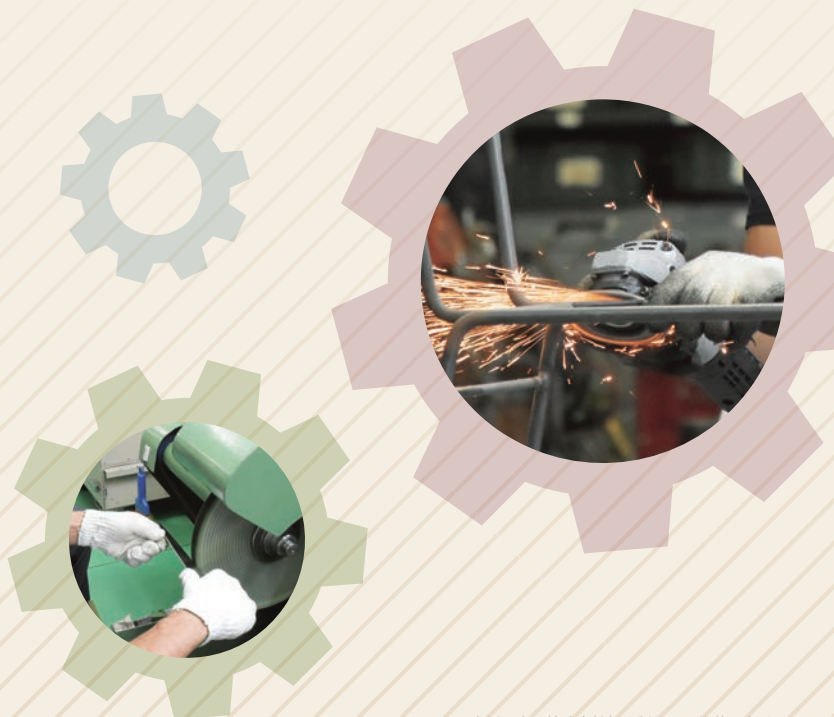
関市は、日本一の出荷額シェアを誇る刃物製品の製造をはじめ、「ものづくり」が盛んなまちです。市内の製造業を営む事業所の99%は中小企業であり、その存在は雇用機会の創出や市の地域経済活性化において重要な担い手となっています。

時代の変化とともに、製造事業所は新たな技術や工法を用いて成長を遂げていますが、近年、科学的な分析による生産性・品質の向上、新素材や工法の研究・開発など課題を抱えています。

市の中小企業がこれらの課題に向き合い、将来にわたり活力を維持しながら、競争していける環境を創出するために、市が取り組む支援とは。



(平成28年6月経済センサス-活動調査)



表紙写真：株式会社杉山製作所 後藤 匡揮さん

ものづくり企業の
「駆け込み寺」!?

岐阜県産業技術総合センター



技術の進歩やニーズの変化など、ものづくりを取り巻く環境は、日々変化しています。そこには、新たな課題が生じ、解決に向けた研究や開発が必要となります。

そこで頼りになるのが「岐阜県産業技術総合センター」です。「ものづくり技術」の総合的な研究開発・技術支援の拠点として、今年6月にリニューアルオープンしました。

刃物、金属、機械、新素材、プラスチック、繊維、紙、電気・電子機械、情報技術など多種多様な分野の技術相談にワンストップで対応します。

3つのサービスで、「ものづくり」をサポート!!

1

多分野の相談に対応

各分野の専門スタッフが「ものづくり」の相談に対応します。しかも相談は無料! 企業を訪問しての相談も可能です。

2

製品や材料の試験はおまかせ!

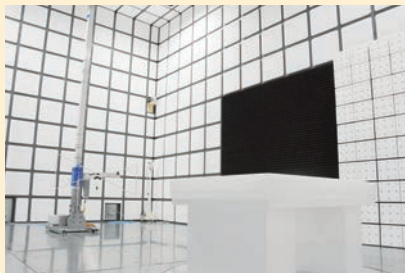
強度試験や成分分析などが依頼できます。試験機器を持っていない事業所でも安心です。

3

課題解決のための研究・支援を行います!

自社に研究・開発部門がないからと諦めなくても大丈夫。工程の改善や新しい工法・手法、材料などの研究を行い、支援します。

試験機器の一部を紹介



電波暗室

電子機器から放射される電磁波の規格の確認や、電磁波、静電気、電源変動などのノイズに対する電子機器の耐性を試験する機器



刃物切れ味耐久試験機

刃物(包丁、カッター刃など)について、「切れ味の数値化」、「切れ味の持続性の評価」ができる機器



疲労試験機

製品に繰り返し荷重をかけて、疲労耐久性を評価する機器

市内事業所は
市が料金の半額を補助!!

市では、ものづくり企業の心強い味方である「岐阜県産業技術総合センター」を積極的に活用できるよう、市内事業所に対して費用の一部を助成し、研究・開発技術の向上を支援しています。

対象

- ①従業員への研修 ②試験機器の利用
- ③センターへ依頼する試験
- ④センターへ依頼する技術課題解決のための研究

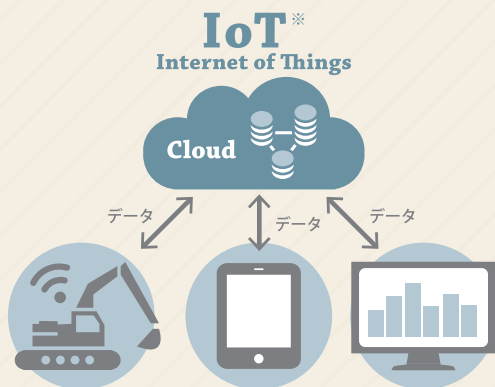
補助
金額

対象経費 2分の1以内

補助
上限

①~③…8万円 ④…30万円

「見える化」で、どう変わる!?



※IoT…Internet of Things
私たちの身の周りのあらゆるモノが、インターネットに接続され、相互に情報交換、制御ができる仕組み。

現代のものづくりでは、従来のように機械を単独で稼働させるのではなく、IoTを活用し、ネットワークやクラウドに繋いでデータを活用しながら生産を行う企業が増えていきます。中小企業の生産現場でも状況に応じて、いかにIoTを導入するかが検討されるようになってきました。

少子高齢化などにより労働人口は減少し、職場の人手不足が深刻化する中で、生産性を高めていくことや働き方改革の有効な手段として注目されるIoTを市内の企業ではどのように活用しているのでしょうか。

株式会社 イマオコーポレーション

機械部品、工具などの製造および輸入販売業

関市千疋2002



タブレットを用いて、各機械の作業実績をはじめ、機械の状態、滞留・稼働時間の平均など様々な情報を「見える化」。

効果

紙の作業日報の廃止、正確な生産時間・進捗状況の把握などが可能となり、生産スケジュールと連携して効率的な生産、無駄な残業の削減ができるようになった。



複数の機械の稼働状況を「見える化」。

効果

作業員が稼働状況を意識するようになり、さらなる効率化に向けて工夫や改善を考えるようになった。



情報ビジネス部
山岡 利幸 さん

IoT活用は 目的を明確にするとところから

IoTの導入には、まず生産における課題は何か、何がIoTで解決できるのか、それによってどんな効果が得られるかを考える必要があります。しかし、どうやって進めればよいか分からない事業所も多いと思いますので、市が取り組む支援制度を利用して、相談することから一歩を踏み出してみようではないでしょうか。

IoTの活用を始めるなら ／今がチャンス!!／

市では、IoTを活用して事業に取り組みたいと考える企業へ支援を行っています。IoTを知るための研修をはじめ、アドバイザーの派遣、導入にかかる費用を補助します。

1 IoT・IT 研修費用の補助

IoTを活用して何ができるのかを学びます。
※(公財)ソフトピアジャパンが実施する研修です

受講費用

2分の1を補助

(1事業者につき同一年度8万円を上限)

2 アドバイザーの 派遣費用の補助

自社工場にはどのようなIoTを導入すればよいかなど、具体的な相談ができます。

(公財)ソフトピアジャパンが実施する
アドバイザーの派遣が

5,000円/回!!

(1事業者につき年間6回まで)

3 IoT・IT 導入費用の補助

導入にかかる費用の一部を負担します。

対象費用

2分の1を補助

(1事業者につき50万円)

※他団体から補助を受けていないことが条件です。
※ソフトウェアは、30万円未満のもの

株式会社 大野ナイフ製作所

家庭用、業務用刃物(各種包丁・ナイフ・工業用刃物)製造卸など

関市下有知4164-1



現在の生産数、停止時間・回数などをリアルタイムで表示。

効果

生産の進捗を「見える化」することで、生産遅延の確認や不良要因の集計が可能となり、速やかに対応することができるようになった。



生産管理部 IoT推進チームリーダー
佐藤 啓介さん



無人機械の停止をスマートフォンやスマートバンドに速報通知

効果

作業員が随時確認する必要がなくなり、機械の稼働率アップと作業員の手間を削減できるようになった。



「データ」を「将来」の取り組みへ

IoTを利用することで、現状が目に見えるようになりませんが、大切なのは得られるデータを活用することです。データを分析し、そこから原因や課題を見つけ改善に取り組み、それが将来の事業に生きてくると考えています。

最適な手段を選ぶためにも、様々な実例を見て、知識やノウハウを吸収することが必要であると思います。

「ものづくり」に求められる 知識や技能の向上へ

ものづくりの技術が進歩・変化する中で、技術者は新たな知識や技能を習得し対応することが求められます。そこで、市では「バイ・アール・テクノセンター」(各務原市)で開催されている「CAD※」や「ロボット」セミナーを受講する事業者を対象に費用の一部を補助しています。

※CAD…コンピュータを使った設計、または設計支援ソフト

対象となる研修

バイ・アール・テクノセンターが開催する
CADセミナー、ロボットセミナー

補助金額

受講料 **3分の1**

※岐阜県が実施する補助の条件に該当する場合は、市の助成に加えて県からも3分の1が補助されます。



CAD研修の様子。コースも豊富で、基礎から応用までレベルに合わせて受講できる。



ロボット研修の様子。実際にロボットを動かして性能を間近で見ることができる。

研修参加者の声

CADの様々な機能を習得できたので、今までに比べて設計にかかる時間が短縮できています。補助制度により負担が少なくなるとは、企業にとって魅力的であると思います。
(市内刃物製造業の従業員)

研修に関するお問い合わせ先

株式会社バイ・アール・テクノセンター

各務原市テクノプラザ1-1 ☎058-379-6370 tp-cad@vrtc.co.jp

各支援制度に関するお問い合わせ先

商工課

☎23-6752 shoko@city.seki.lg.jp